



# えいじ わたなべ英治 後援会報

## 議会活動をふりかえつて

### 初 議会で 初 質問!



平成15年6月定例議会での一般質問

平成十五年春の県議選にて、初挑戦・初当選を果たした渡部県議は、初議会となる6月定例議会において初質問を行いました。

渡部県議は地元からかけつけた約50名の傍聴者の熱い視線の中、「少子化、雇用対策という喫緊の課題」についての対策を中心に質問し、自分の考えを堂々と主張しました。

特に懸案の大曲橋（通称金谷橋）の早期架け替えについて16年度着工をめざすという前向きな知事の答弁を引き出すことが出来ました。

### 懸案の大曲橋（通称金谷橋）16年度着工を国に要望!

**Q** 主要地方道大曲大森羽後線大曲橋は、日常生活においても、また、地域産業上も重要な路線となっている。しかし、架橋後60年以上が経過し、劣化、老朽化が進行していることと、道路幅が狭く渋滞が慢性化していることから、安全の確保と地域経済活動の活性化を図るためにも、架け替えの要望が大きい実情にある。1日も早く架け替えを着工してもらいたいどうか。

**A** 主要地方道大曲大森羽後線大曲橋については、「大曲橋架替検討委員会」を設置し、地元住民の意見を聞きながらルートを検討してきたところであり、平成16年度中に事業着手できるように国に要望している。

**現在** ※16年度、事業着手後、現在、用地補償等の地元合意にもとづく、橋梁の20年着工をめざして事業が進められています。

日頃より皆様方には大変お世話になっております。

さて、心の時代といわれている今、私たち地域の安らぎやゆとり、そして県民生活の向上という視点からも、本県の基本課題である少子・高齢化対策に的確・果敢に対処することが、私共の使命であります。

私は、常に住民の立場に立ち、県民一人ひとりが将来に夢と希望を持てるような「元気の出る大曲仙北・秋田」の実現をめざすというこれまでの基本スタンスのもと、今後も積極果敢に挑戦し、さらなる努力を重ねる所存であります。

皆様には何卒これまで以上のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

秋田県議会議員 渡部英治



# 大仙・仙北の最重点課題である

## 仙北組合総合病院改築の

### 早期実現を！

(平成17年12月定例議会にて3回目となる渡部県議の一般質問から)

渡部)

第1に、この度の第3期実施計画の中に鹿角、湖東の両病院と同様に、仙北組合総合病院移転新築整備の促進と支援を明記すること。

第2に、地元大仙市が中心となつて、土地の先行取得などについても念頭に入れた強い覚悟で望んでいることから、事業主体である厚生連との協議の場を県が調整役として、早急に設置すること。

第3に、農水省に対して、仙北組合病院の移転新築整備を加えた財務改善計画の見直しについて、知事が先頭に立つて要請していただきたい。

以上、3点について強く要望し、寺田知事の前向きな期待できるご所見を



平成17年12月定例議会での一般質問

伺いたい。

知事)

1点目は、建設

用地の選定・確保や建設資金の調達、移転後の跡地利用など多くの課題があり、まちづくりを含めた総合的な整備構想の検討が必要。県はあきた21総合計画第3期実施計画に、改築に向けた検討を進めることを盛り込んでいる。

2点目は、今後仙北地域振興局を中心に、地元自治体等関係機関と密接な協議を進め、地域の熱い期待にこたえるような将来構想をできるだけ早く策定するよう厚生連に対し積極的に働きかけていく。

3点目は、六百床を超えるベッドを有する県内有数の大病院であり、多額の事業費が必要であり、農協法が求める固定比率の改善に大きく影響するものと思われる。しかし、地域医療の確保は県の責務であり、また大仙市をはじめ地元の熱意も強いことから、引き続き農水省に対し、厚生連の経営財務改善計画の推進に理解と支援が得られるよう強く要請していく。



再質問)

知事が農水省に率先して働きかけるということは大変ありがたい。改築問題では医師の確保も非常に大事な問題であり、これから益々高度医療化が進む中で、仙北組合病院がそれに対応できるか否か、その機能を果たせるか心配です。

そういったことを勘案すると、固定比率、農協法の問題を何とかしなければならぬと思うが、知事は、地元、そして厚生連の意気込みを感じながら、そういった弊害を乗り越えて取り組んでいくとのことであります。しかし、固定比率の達成率だけを考えると、なかなか10年スパンとかではいかならないと思います。知事の答弁は、それもクリアして早い時期に、たとえ実施計画の22年まで間に合わなくとも、それに近い形で取り組んでいくと私は理解しましたが、その点について再確認したい。

知事)

厳しい質問であります。農協法による固定比率等々により、病院改築の見通しが立たない状況との質問と受け止めます。

県としては、基本的な考え方として、県民がよりよい医療を受けられるという考え方はいささかも変わっていません。

仙北組合病院は老朽化しており近代

医療に対応するには早急な改築であると思う。できるだけ早く病院サイド、地元において、用地の確保、病院の院長をどう活かすか等、目標設定して決めるべきであり、その時点で病院の改築についてはスピードアップを図れると思う。勿論県サイドも地域医療計画の中では厚生連病院は、できるだけ早期改築という目標設定をしているので、さらに地元の努力をしてもらいたい。

現在

※仙北組合総合病院の改築については、あきた21総合計画第3期実施計画の大仙仙北地域計画の中に、重点施策として位置づけられ、地元としても、大曲仙北地域の最重点課題として新築推進会議を中心とした早期実現に向けた活動が展開されています。



小野地院長との意見交換

# 真木ダム建設について



平成16年9月定例会にて、渡部県議は、みらい21の代表として2回目の一般質問を行いました。質問事項より地元の大きな課題である真木ダムの建設について、質問と寺田知事の答弁を紹介いたします。

渡部)

太田町の県立自然公園「真木渓谷」に建設予定の真木ダムは、昭和56年の調査着手から、ダム建設の目処が立っていない。住民の意見を聞き、多方面にわたる科学的な根拠にもとづく検討事項を速やかに住民に示す必要がある。勿論真木ダム建設推進協議会や関係市町村と十分協議し、順序を踏まえて方針を打ち出すべきである。

知事の基本的な所見を伺いたい。

知事)

真木ダムは、多目的ダムとして昭和56年から国の補助を受け調査を進めてきましたが、貯水池が真木真昼県立自然公園にかかることから、ダムサイト的位置の検討や、環境への影響調査に時間を要してきたところであります。

その間、環境保護に対する意識の高まりや、県の厳しい財政事情、秋田第二工業用水の未利用水など、真木ダムを取り巻く社会情勢も大きく変

わってきております。

このようなことから、今後は工業用水の活用を含め、検討に必要なデータを示し、関係機関及び住民の意見を十分に聞く機会を設けるなどして、今年度中に県として方針を示したいと考えております。

## 現在

※真木ダムの計画は断念され、現在、治水対策、水道水源、維持流量の代替について、齊内川の改修、玉川の水、齊内の水、大曲地区水道水の水源等について検討が進められています。



平成16年9月定例議会での一般質問

いつも変わらぬご支援に感謝しております。



県三役と傍聴者の皆さんとの記念撮影

# 元氣のでる大曲仙北「秋田」の 実現をめざす主な政策



8 情報公開と行政サービスの充実

7 活気ある地域づくりの推進と  
交通体系の整備

6 子供たちの夢を育てる教育の推進

5 医療体制の整備・拡充の推進

4 安全・安心なまちづくりの推進

3 少子高齢化対策の推進

2 未来を支える強い仙北農業の確立

1 雇用対策の促進



## わたなべ英治プロフィール

昭和24年7月13日  
大仙市大曲丸の内町に生まれる

### ◆略歴◆

昭和43年 秋田県立横手高等学校卒業  
昭和43年 東北電力株式会社入社(現在休職中)  
昭和62年 大曲市議会議員初当選(連続四期)  
平成15年 秋田県議会議員選挙初当選  
教育公安常任委員  
平成16年 県議会 空港ターミナルビル問題  
調査特別委員  
平成17年 県議会 決算特別委員会副委員長

### ◆現職◆

県議会 農林水産常任委員  
県議会 議会運営委員及び  
議会改革小委員会委員  
県議会 みらい21政調会長  
大仙市防犯協会会長(県連合副会長)  
仙北漁業協同組合長  
仙北郡市及び大仙市サッカー協会顧問  
大曲仙北地区労働福祉協議会顧問



ご意見・苦情・提言等、大歓迎です。  
お気軽にどうぞ。

お問い合わせ

# わたなべ英治

## 後援会事務所

大仙市大曲田町23-10  
TEL・FAX.0187-66-1700

後援会  
会員募集!



わたなべ英治  
後援会事務所まで  
お気軽にどうぞ!